

2010年度湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」報告書
POM²ステッカーで地雷除去キャンペーン タイ視察

1.視察概要

2010年8月1日から6日までの日程で、POM²がステッカー販売を通じて得た収益を寄付しているタイ現地の地雷除去団体であるPROを訪問し、地雷除去員や被害者の方へのインタビュー調査や義足工場、現地学校への訪問を行った。

2.目的

- (1)POM²からPROへの支援金が地雷除去に使われていることを確認する。
- (2)インタビュー調査を通じて、日本での活動では知ることのできないタイ現地での地雷問題の現状を学ぶ。
- (3)PROの除去活動を現地で確認し、PROや除去地についてより正確な情報を得る。
- (4)地雷除去員の方と交流し、POM²メンバーのモチベーションを向上させる。
- (5)POM²及び個々のメンバーの問題意識を明らかにし、今後の活動の指針とする。

3.視察内容

日程	活動内容（メンバー：飯田麻友、杉崎奈緒子、西村朋子、粒良夏未、要田麻美）
8月1日	18:00 中部国際空港発→22:00 バンコク着 バンコクのホテルに宿泊
2日	バンコクからカンボジアとの国境付近に位置するウボンラチャタニ空港へ移動 空港でPROメンバーに迎えられる バンダン学校、義足工場を訪問する
3日	バンプミサラン学校を訪問し、地雷除去のデモンストレーションを見る
4日	地雷被害者2名、除去員3名へのインタビュー調査を行う PRO オフィスを訪問し、収支や新プロジェクト地について聞く
5日	サドックコクトム寺院、カンボジアとの国境に隣接するアランヤプラテート地域へ行く アランヤプラテート地域からバンコクへ移動する 23:30 バンコク発
6日	07:10 中部国際空港着

4.成果

- (1)インタビュー調査により以下の内容が確認できた。
- ・地雷被害者が事故に遭遇したときの状況
 - ・地雷被害者へのタイ政府の金銭的支援が不十分であること
 - ・国境付近に住む人々が地雷の被害を受けている一方でバンコクに住む人々は地雷の存在

自体を知らないという現状

- ・ PRO が今年度から始めた地雷教育である MRE(Mine Risk Education)の内容
 - ・ POM²の支援金は PRO の地雷除去費用である人件費と設備費として使われていること (2010年度の寄付金に対しても 2011年に PRO から寄付証明書が発行される予定)
 - ・ POM²が支援したバンパライプロジェクトでは対戦車地雷 2つ、対人地雷 3つ、不発弾 1つが発見されたこと
 - ・ 地雷除去の手順
 - ・ 地雷除去員になろうと思った動機として賃金が高いことだけでなく安全な土地を増やし人々を助けたいという思いがあったということ
 - ・ 地雷除去員の多くが自分の仕事に誇りを持っていること、等
- (2)10月から始まる PRO の新プロジェクト地や PRO の収支について聞くことで、POM²ウェブでの正確な情報発信が可能となる予定。
- (3)視察期間中終始 PRO メンバーと共に過ごしたことから、今後の活動において除去員一人一人を意識した支援につながることをメンバーと確認しあった。
- (4)視察を通じて地雷除去支援に取り組む POM²の活動の意義を改めて認識することができた。

5.謝辞

今回のタイ視察にあたり大変お世話になった地雷除去団体 PRO の皆様に感謝いたします。また、本視察は 10 年度湘南藤沢学会「シンポジウム・ネットワークミーティング基金」の援助のもとに行われました。

なお、タイ視察に関する詳細な報告は後日 POM² (<http://www.jirai.org>) にて行わせていただきます。



(写真：PRO メンバー)

以上